

日 時	令和 7 年 3 月 18 日（火） 19:25～19:40 第 8 回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、大久保副市長、佐藤副市長、技監、政策経営局長、総務局長、財政局長、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局長、市民局長、
欠席者	中区長
議 題	1 GREEN×EXPO2027 の会場建設費に係る要請及びその対応について【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会より、物価・人件費の高騰に係る会場建設費の変更見通しに対する協力要請があった。 ・ 会場建設費の見通しについて、確認を行った結果、国や県の状況も踏まえつつ、コスト抑制に向けた努力を前提に、今回の協会の要請を受け入れることが妥当と考える。 <p>【説明要旨】</p> <p>協会が提示した会場建設費に関して、算出方法や物価上昇の影響等について、それが妥当であることを確認した。</p> <p>なお、基本計画策定時点（2023 年 1 月）で資金計画を変更しなかった理由は、会場計画が具体化しておらず整備内容に基づく積み上げでの算出ができなかったことと、令和 3 年（2021）からの急激な物価上昇傾向が一時的なものかどうか見極められなかったことによる。</p> <p>また、物価上昇の影響による資金計画の変更を都度行わなかった理由は、デフレーター等を用いて物価上昇影響額を算出しても、具体的な整備内容が定まっていない中では、物価上昇を適切に反映することにはならないためであることによる。</p> <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年 1 月時点では、物価高騰が激しく、その後の物価の傾向を見極めることが難しかったことや、会場計画も具体化していなかったことからすると、やむを得ないと考える。 ・ 本日の総合審査でも本件については議論となった。「過度なコストカットで EXPO のグレードを落とさないようにすべき」という意見もあったが、コスト削減の努力は当然としながらも、来場者が満足する水準となるような検討も必要。 ・ 基本計画に定めた国際園芸博覧会の趣旨を実現するため、博覧会協会として限られた資源を最大限活用するとともに、引き続きコスト抑制に取り組み、市民の共感を得られる運営に努めるよう取り組むこと。 ・ 物価や人件費の上昇等、厳しい状況にあるが、事業の全体像を早期に明らかにするとともに、博覧会の収支確保に向けて引き続き取り組んでいただきたい。

	<p>【結論】</p> <p><u>主な意見等を踏まえて、局案を一項会議に諮ることについて了承。</u></p>
--	---